

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2004-54834(P2004-54834A)

【公開日】平成16年2月19日(2004.2.19)

【年通号数】公開・登録公報2004-007

【出願番号】特願2002-215096(P2002-215096)

【国際特許分類第7版】

G 0 6 F 1/00

G 0 9 C 1/00

【F I】

G 0 6 F 9/06 6 6 0 L

G 0 9 C 1/00 6 6 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月28日(2004.5.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

請求項1において、

前記LSIと構成が共通のLSIを、鍵生成用LSIとして、開発モードおよび商品動作モードとは異なる鍵生成モードに設定する工程と、

前記鍵生成用LSIに、暗号化された鍵生成プログラムを実装し、この鍵生成プログラムを実行させることによって、鍵を生成する工程とを備えたことを特徴とするプログラム開発方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

請求項5において、

前記LSIと構成が共通のLSIを、管理者用LSIとして、開発モード、商品動作モードおよび鍵生成モードとは異なるアドミニストレータモードに設定する工程と、

前記管理者用LSIにおいて、前記鍵生成プログラムを開発し、任意の鍵で暗号化する工程とを備えた

ことを特徴とするプログラム開発方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項5の発明では、前記請求項1において、前記LSIと構成が共通のLSIを鍵生成用LSIとして開発モードおよび商品動作モードとは異なる鍵生成モードに設定する工程と、前記鍵生成用LSIに暗号化された鍵生成プログラムを実装し、この鍵生成プログ

ラムを実行させることによって鍵を生成する工程とを備えたものとする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項7の発明では、前記請求項5において、前記LSIと構成が共通のLSIを管理者用LSIとして、開発モード、商品動作モードおよび鍵生成モードとは異なるアドミニストレータモードに設定する工程と、前記管理者用LSIにおいて前記鍵生成プログラムを開発し、任意の鍵で暗号化する工程とを備えたものとする。